

山行番 NO. 1748-4
日時 2017.08.06(日) 晴れ
山域 北海道・後方羊蹄山(しりべしやま・1898m)
コース 06日=起床2:00—京極登山口駐車場発3:24—六合目5:27—七合目5:53—京極分岐6:53—羊蹄山頂上7:06~30—駐車場着10:15—洞爺(泊)
07日=洞爺駅発洞爺8:44—新函館北斗10:22—新函館北斗10:49—東京15:04—三島16:30
標高差 上り=駐車場約420m~羊蹄山1898m=約1478m
下り= //
所要時間 上り=約3時間半 下り=約2時間15分
参加者 GT, KH

見事な円錐形の山

昨日は、移動日・休養日だったが、気分はイマイチだった。今回の北海道遠征で最大の目玉だった幌尻岳登山が出来なかったからだ。しかし、その気持ちをいつまでも引きずっても仕方がない。気持ちを切り替え、後方羊蹄山に向かった。

天気は相変わらず好天が続いた。日高沙流川オートキャンプ場を早朝出発。道東自動車道から千歳東ICで降りて、支笏湖経由で京極町・スリーユーパークキャンプ場に入った。キャンプ場は、広大な芝生で眼前に羊蹄山が聳える。料金は一張=500円で超安価。



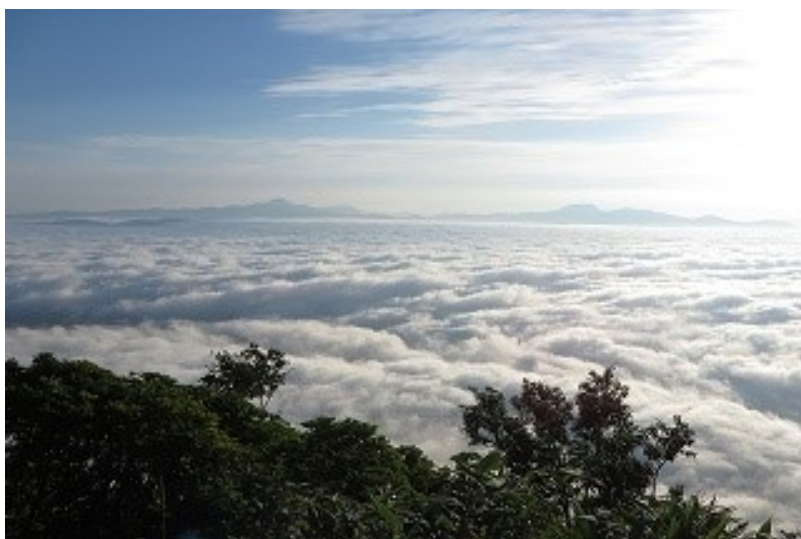
羊蹄山



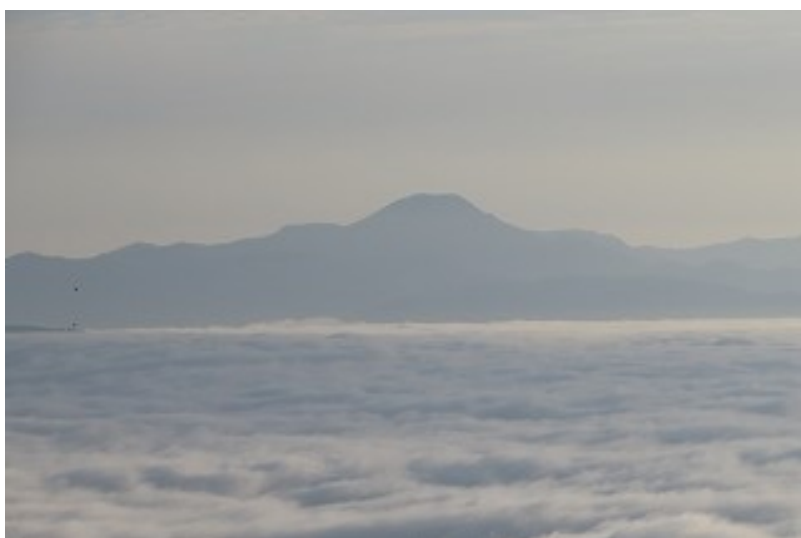
管理事務所

翌朝、気合で2:00起床。京極登山口駐車場着。ここは熊注意の看板は無かった。同じくして2名着。後で聞いたが、埼玉の方で、今日、羊蹄山に上り、明日は幌尻岳に向かうと言った。その後利尻岳にも行くらしい。完全な百名山志向だった。

ヘッドランプで行く。羊蹄山は、コースタイムで上り5時間以上か掛かる。だから涼しい早朝になるべく稼いだ方が良い。また、面白くない下部を暗い中上ると、登山に集中出来て効率的に上ることが出来る。



雲海が広がる



次第に明るくなって来た。秋の様な一面の雲海だった。上で声が聞こえた。先発の方かと思ったら下山の方だった。女子を含んだ山岳ランナー3名だった。聞けば2時頃上ったそうだ。上りは3時間と言ったが、それでは我々と、それ程変わらない。それ以降、上からゾロゾロ、沢山下って来た。殆どランナーだった。この地は、山岳ランが盛んなのだろうか。



「忍耐の一步、努力の前進」



「足元に気をつけて」



イワギキョウ

それにしても暑い。合数の看板を励みに上る。看板には、それぞれ激励の言葉が添えられていた。六合目は「忍耐の一步、努力の前進」、七合は「足元に気をつけて」という具合。九合から灌木がなくなり、ガラガラの荒れ地が続いた。展望が開け気分は良い。時間はまだ、6時37分だった。やがて火口淵に達した。ここが京極コース分岐になる。小休止して火口淵を進み頂上に達した。淵にはイワブクロが咲いていた。天気は快晴。爽快な朝だった。ここから、2000年12月上った、ニセコアンヌプリは指呼の間だが、よく分からなかった。



九合上



京極コース分岐



羊蹄山頂上

火口一周の思いもあったが、花が少ないので止めた。ここも花はやっぱり6月下旬だった。休憩後、下山開始。やっぱり下りは楽だ。それから下から来るは来るは、登山者の列だった。日曜日ということもあったかも知れない。駐車場は置ききれないくらいだったから、50名はいただろう。しかし、皆さん暑さで相当、参っている様子だった。



イワブクロとイワギキョウ





火口淵



登山口

隠れパトカー



大汗を掻いて登山口着。周りの畑はニンジン育てていた。

明日は洞爺駅から帰静するので、洞爺に向かう。途中、R97で下り道路で、隠れパトカーを発見。危ない所だった。

また、先日の報告で、暑寒別岳の増毛からの帰路、秩父別PAを利用した際、PAが上り・下り併用PAでどちらも出入り出来るPAだった。本土の自動車道路では考えられないが、気をつけないと、反対に入ってしまうので注意が必要である。

翌日、8:44の室蘭本線で帰静。久しぶりの北海道で戸惑いはあったが、まあまあ楽しめた。北海道はまだまだ上る山が多いので、今後が楽しみ。春、山スキーもやりたいね。

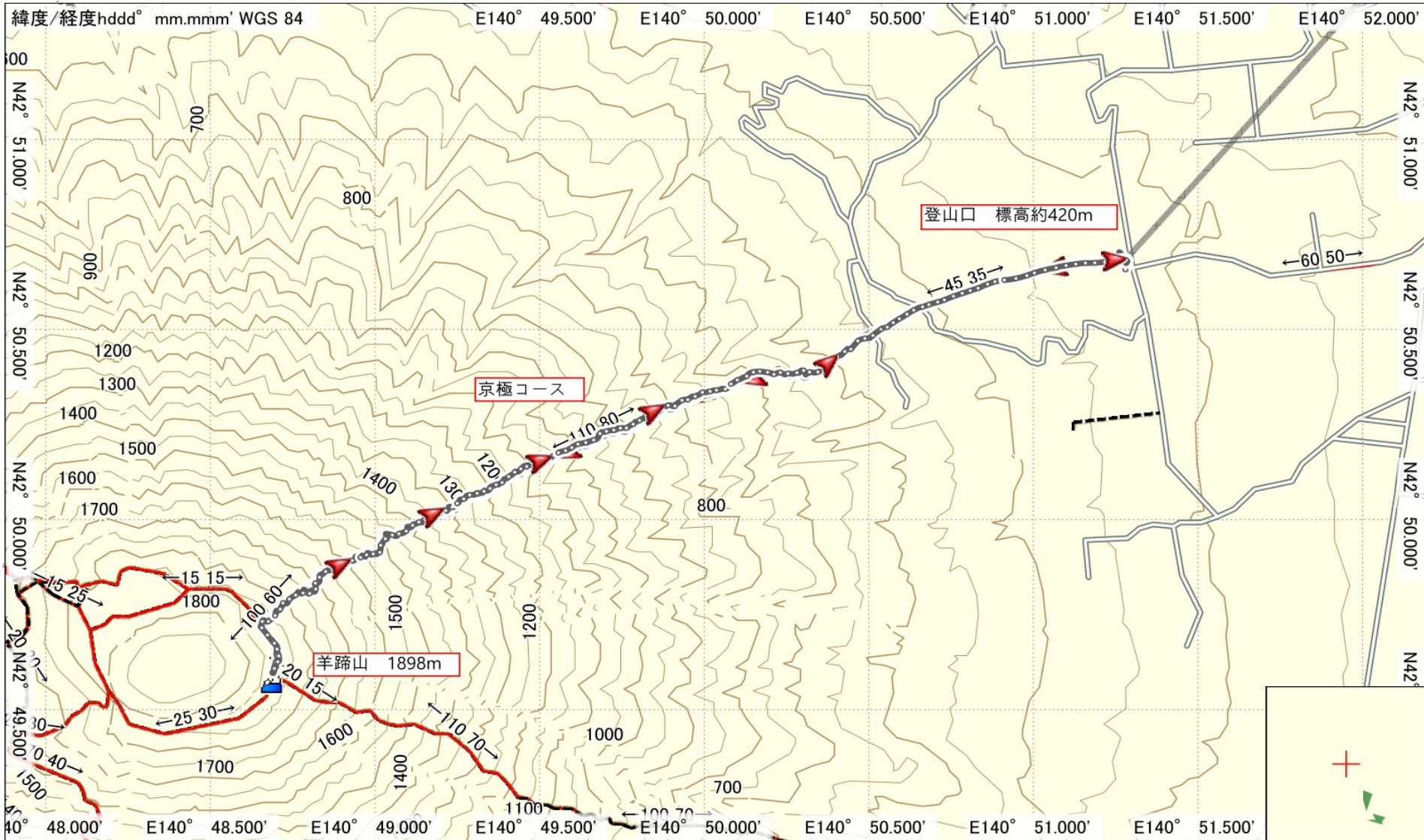
(了)



シマリス



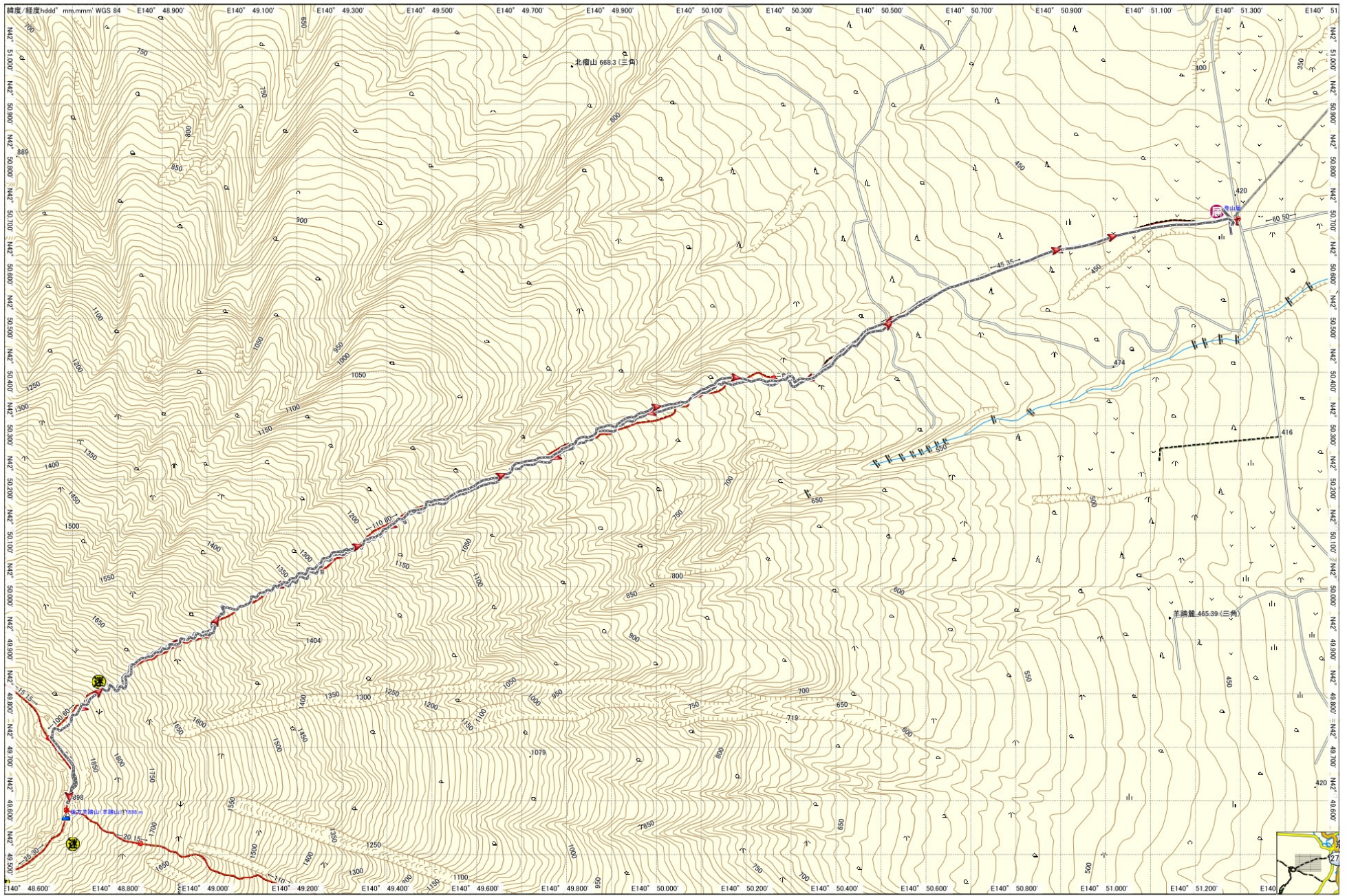
支笏湖付近



Japan Topo 10M Plus V3
 CanvasMaple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2017/08/16 14:19:15

GARMIN



Map Top 10M Plus V9
 Copyright © 2014 Garmin International, Inc.

2017/08/16 14:18:15

GARMIN